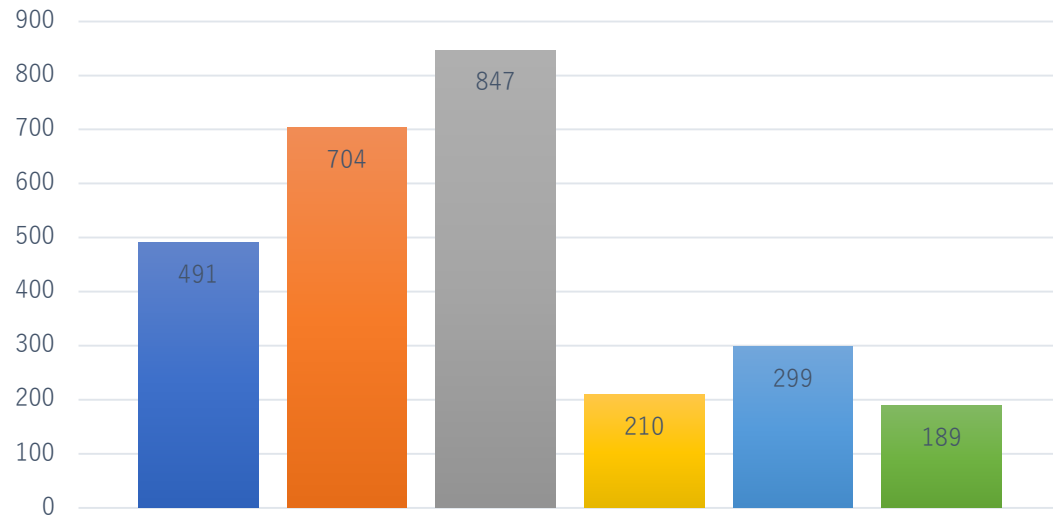


# オンライン授業事後アンケート

- 【調査対象】** 教職員 小学校3年生～6年生担任及び専科担当者（947人）  
中学校オンライン授業担当者（803人）  
子ども 小学校3年～6年生（19,016人）  
中学校1年～3年生（15,172人）  
保護者 小学校3年生～中学校3年生保護者（20,530人）
- 【調査時期】** 令和2年7月7日（火）～17日（金）
- 【調査方法】** 教職員・子ども 質問項目をタブレットに配信  
保護者 安心安全メールで質問紙URLを配信

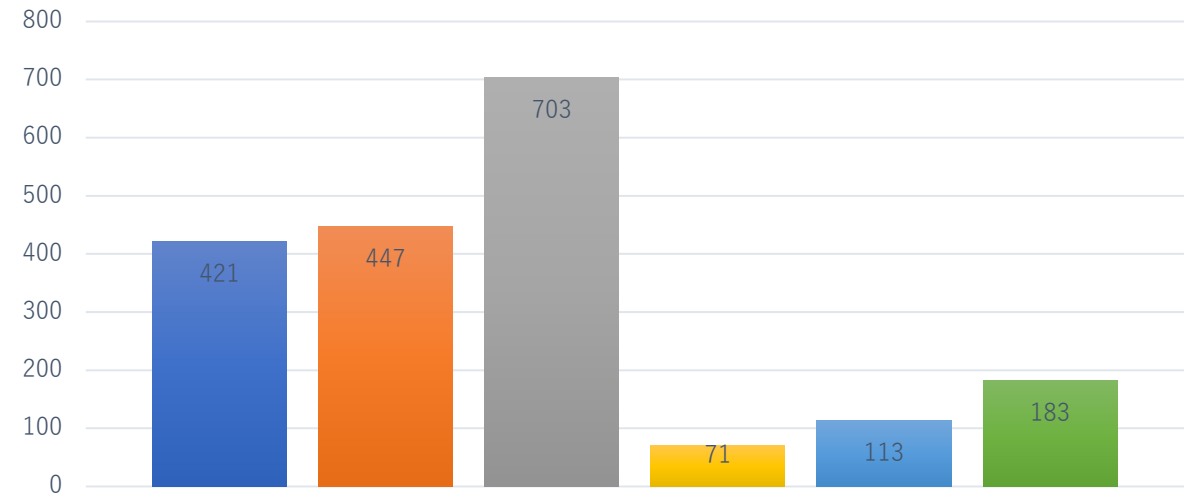
# オンライン授業で何をやりましたか 【教職員】

## 小学校



- ロイロノートで健康観察（ステップ1）
- ZOOMで健康観察（ステップ2）
- ロイロノートで課題の提示・提出（ステップ3）
- ロイロノートで子ども同士の学び合い（ステップ4）
- ZOOMで子ども同士の学び合い（ステップ5）
- その他（次の回答欄に入力してください。）

## 中学校



- ロイロノートで健康観察（ステップ1）
- ZOOMで健康観察（ステップ2）
- ロイロノートで課題の提示・提出（ステップ3）
- ロイロノートで子ども同士の学び合い（ステップ4）
- ZOOMで子ども同士の学び合い（ステップ5）
- その他（次の回答欄に入力してください。）

小学校

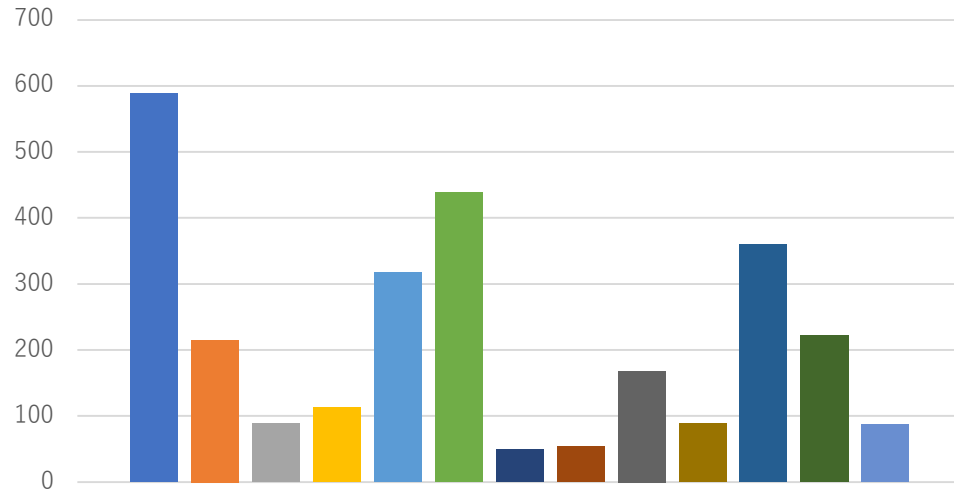
- ・ ZOOMで授業
- ・ ロイロノートで学習
- ・ ZOOMで個別学習
- ・ ロイロノートで動画配信
- ・ 体操
- ・ YouTubeでの授業動画配信
- ・ メタモジによる学習
- ・ 朝の会
- ・ 子ども同士の交流
- ・ 評価、テスト

中学校

- ・ ZOOMで授業)
- ・ ロイロノートで学習
- ・ メタモジによる学習
- ・ ZOOMで個別学習
- ・ ロイロノートで動画配信
- ・ 生徒会活動
- ・ keynoteでプレゼンづくり
- ・ 子ども同士の交流
- ・ 体操
- ・ YouTubeでの授業動画活用

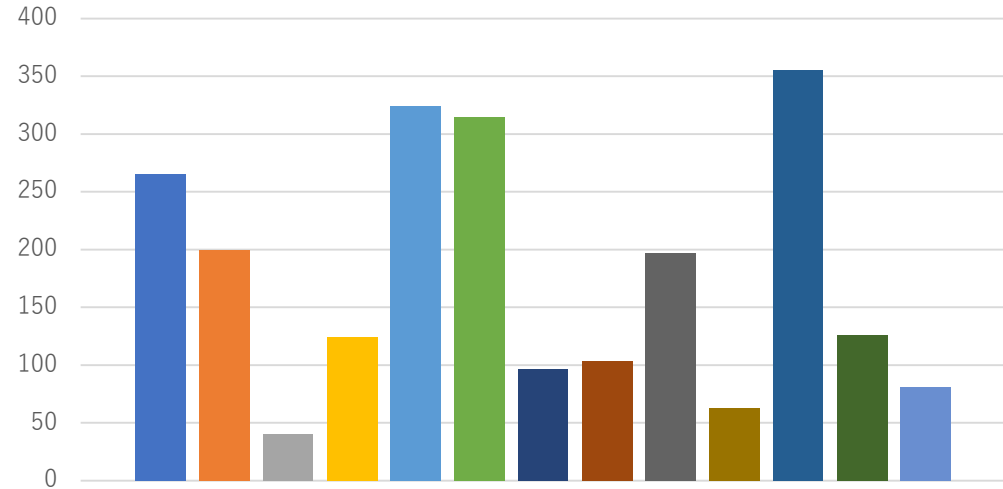
# オンライン授業の成果と課題（特にそう思うこと3つ） 【教職員】

## 小学校



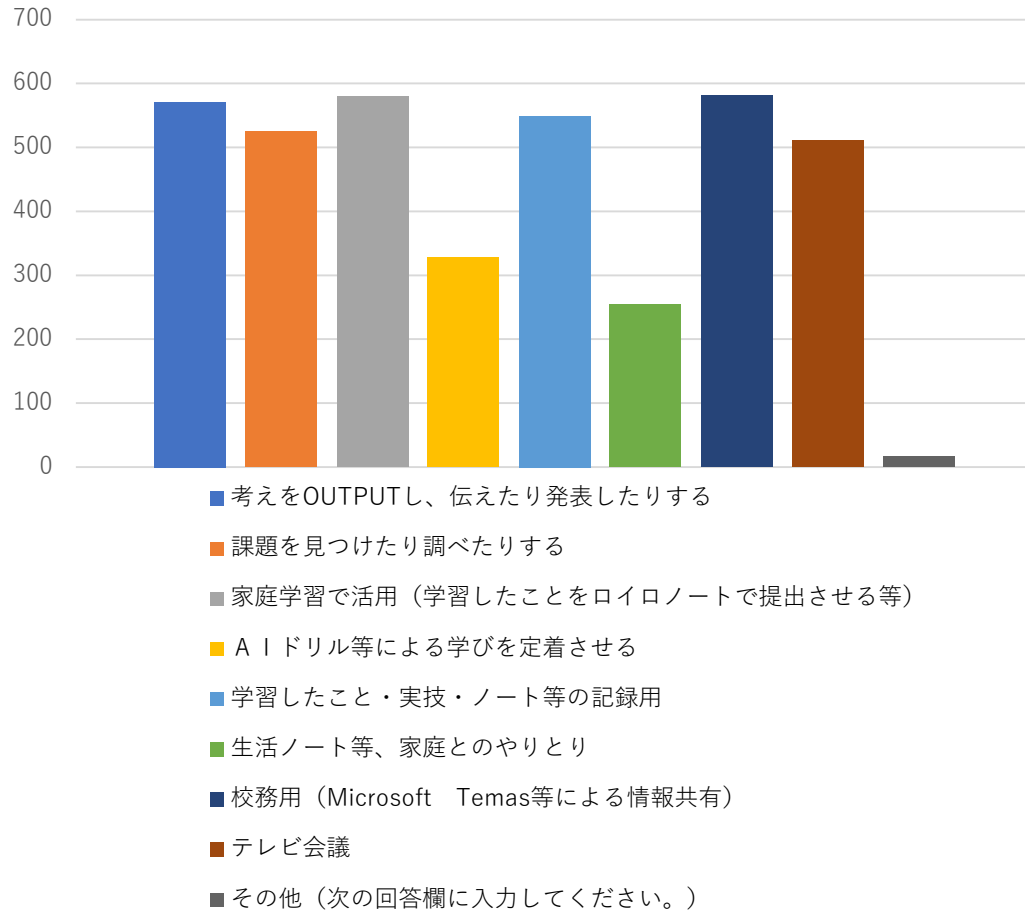
- オンラインで子ども同士が会うことができた。
- 子どもが質問しやすかった。
- 子ども同士で学び合うことができた。
- 子どもが集中して学習に取り組むことができた。
- 子どものペースで学習できた。
- 子どもの生活リズムが乱れなかった。
- 課題が多くなり、子どもが大変だった。
- 子どもはZoomで授業を長時間受けることに疲れていた。
- 子どもが質問しにくかった。
- オンライン授業の機会が少なかった。
- 家庭のICT機器を使ったので、操作できないことがあった。
- 子どもがタブレットを操作することが難しかった。
- その他（次の回答欄に入力してください。）

## 中学校

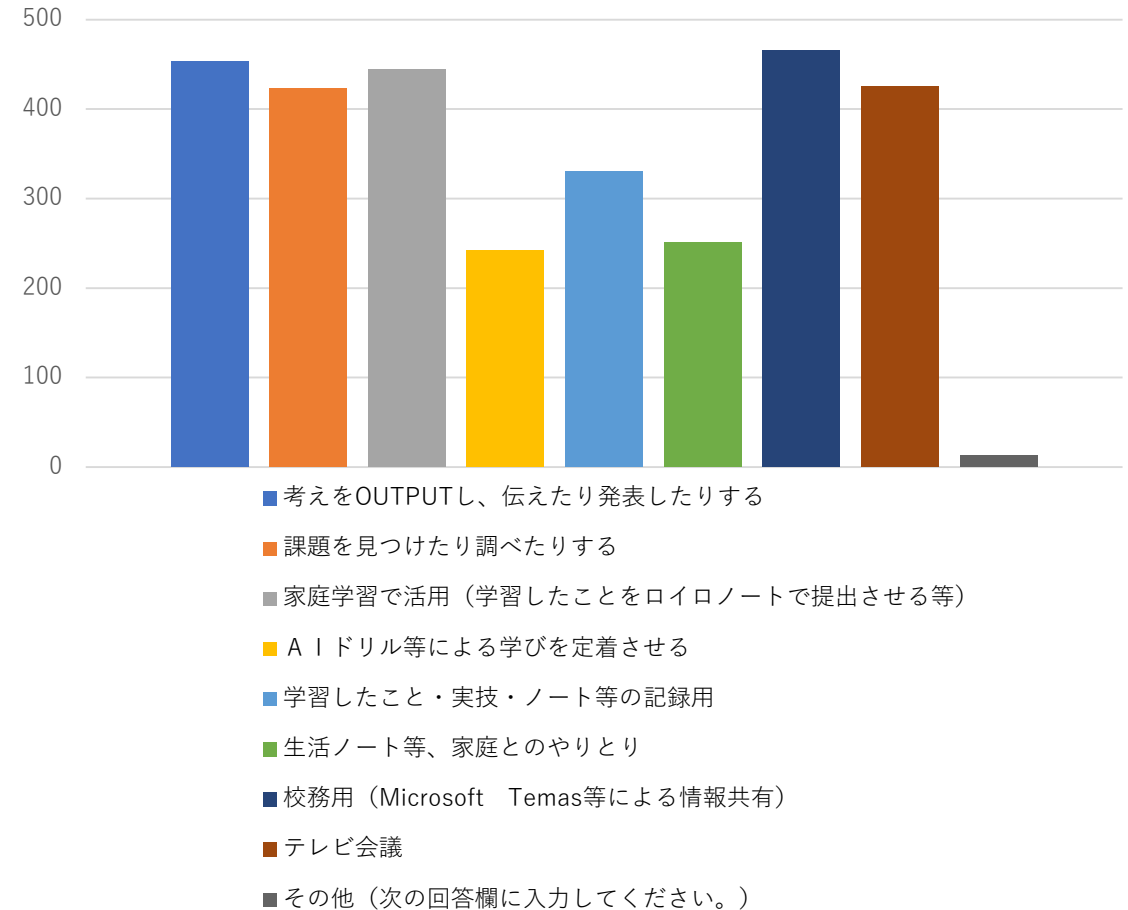


- オンラインで子ども同士が会うことができた。
- 子どもが質問しやすかった。
- 子ども同士で学び合うことができた。
- 子どもが集中して学習に取り組むことができた。
- 子どものペースで学習できた。
- 子どもの生活リズムが乱れなかった。
- 課題が多くなり、子どもが大変だった。
- 子どもはZoomで授業を長時間受けることに疲れていた。
- 子どもが質問しにくかった。
- オンライン授業の機会が少なかった。
- 家庭のICT機器を使ったので、操作できないことがあった。
- 子どもがタブレットを操作することが難しかった。
- その他（次の回答欄に入力してください。）

小学校

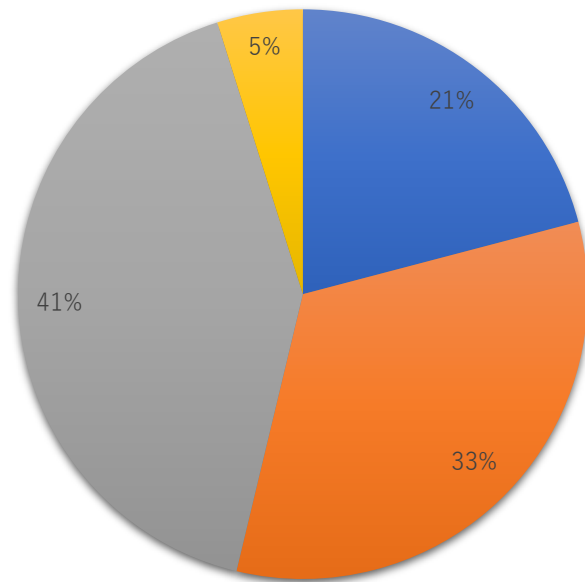


中学校



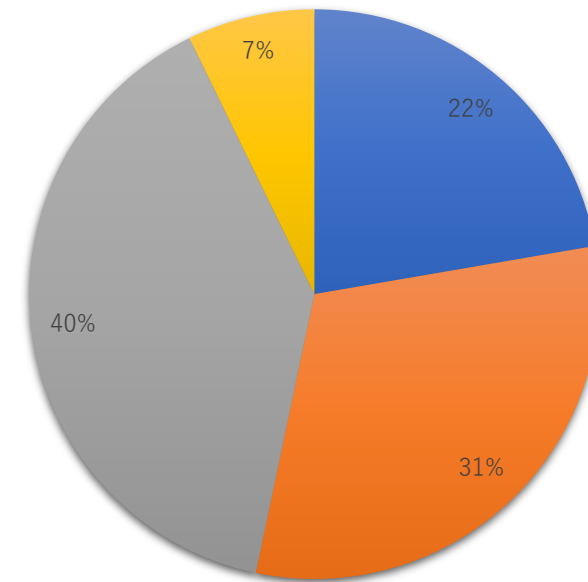
# 今後、解決すべきことや支援してほしいこと 【教職員】

## 小学校



- 教職員のICT機器の扱い方や操作研修・支援
- タブレットの授業での活用に関する研修・支援
- オンライン授業のモデルの提示
- その他（次の回答欄に入力してください。）

## 中学校



- 教職員のICT機器の扱い方や操作研修・支援
- タブレットの授業での活用に関する研修・支援
- オンライン授業のモデルの提示
- その他（次の回答欄に入力してください。）

## 小学校

- ・ 授業モデルの例示や評価の在り方
- ・ 一人一台のタブレット端末の整備
- ・ 指導主事やICT支援員による支援
- ・ オンライン授業に関する研修の実施
- ・ ロイロノート、Zoomの不具合の解消
- ・ ロイロノート、Zoomの操作の支援
- ・ 情報モラルなど生徒指導上の対応

## 中学校

- ・ 授業モデルの具体的な実践例
- ・ 指導主事やICT支援員による支援
- ・ オンライン授業に関する研修の実施
- ・ 情報モラルなど生徒指導上の対応
- ・ 一人一台のタブレット端末の整備
- ・ 授業動画の活用
- ・ 機器、アプリ、通信等の不具合解消

### 小学校

- ・子供の実態と家庭環境の違いから、オンライン授業そのものが難しいところもあった。
- ・いつ、どのサイトを、何時間見ていたかちゃんとわかり、家庭に通知するようにしてほしい。
- ・タブレットの家庭所有、家庭管理。様々に負荷がかかってきている状況で、公共物として学校で管理するには限界がある。
- ・休校中、zoomで授業ができたことは大変助かった。子どもたちも友達の顔を見ることができて安心したようだ。
- ・これから、さらに有効活用ができるように教職員の研修が必要だと思う。
- ・オンライン授業を実施する上で、操作に長けた先生への負担が大きい。
- ・電磁波やさまざまな電波にさらされ続けることや、画面を見続けることなどによる健康被害が気になる。
- ・不登校ぎみの児童担当したが、zoomで毎日繋がり、比較的スムーズに新学期を迎えることができた。

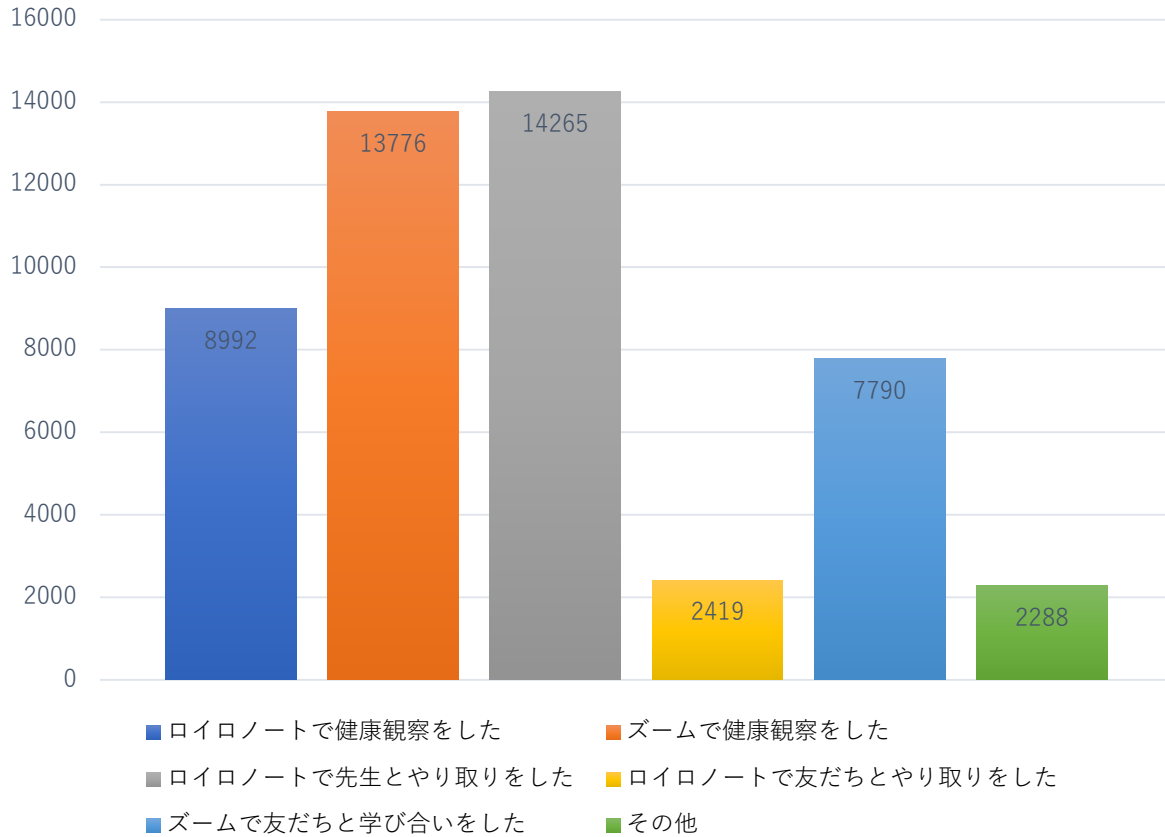
### 中学校

- ・個人のパソコン等だと画面が写ってなかったりなどのトラブルが多かった。
- ・アプリの機能について十分に理解できていないと、授業で活用する事は難しい。最初にタブレットありきではなく、授業の中での有効なツールの一つとしてタブレット（アプリ）を使用すべきである。
- ・休校中、教材作成、授業、課題提示、課題チェックなど、1日の長い時間、画面を見ていたことは、本当に目に良くないと実感した。
- ・オンライン授業は普通の授業より、準備に時間がかかりました。時数が多くなると準備が苦痛になります。時間的に無理です。
- ・不登校生には、大変興味深く授業できるのではないのでしょうか。また、集団に入りにくい子どもたちも、興味深く授業を受けることもできると、思いました。
- ・不適切な使用をしている生徒の発見や指導について、困難を感じる。
- ・画面越しの相手に対して、顔を出すことに抵抗がある先生は私だけではないと思う。授業をすることに関して、というよりも教師側のそのような思いも汲み取って欲しい。
- ・オンライン授業はやってみてなかなか楽しかったです。

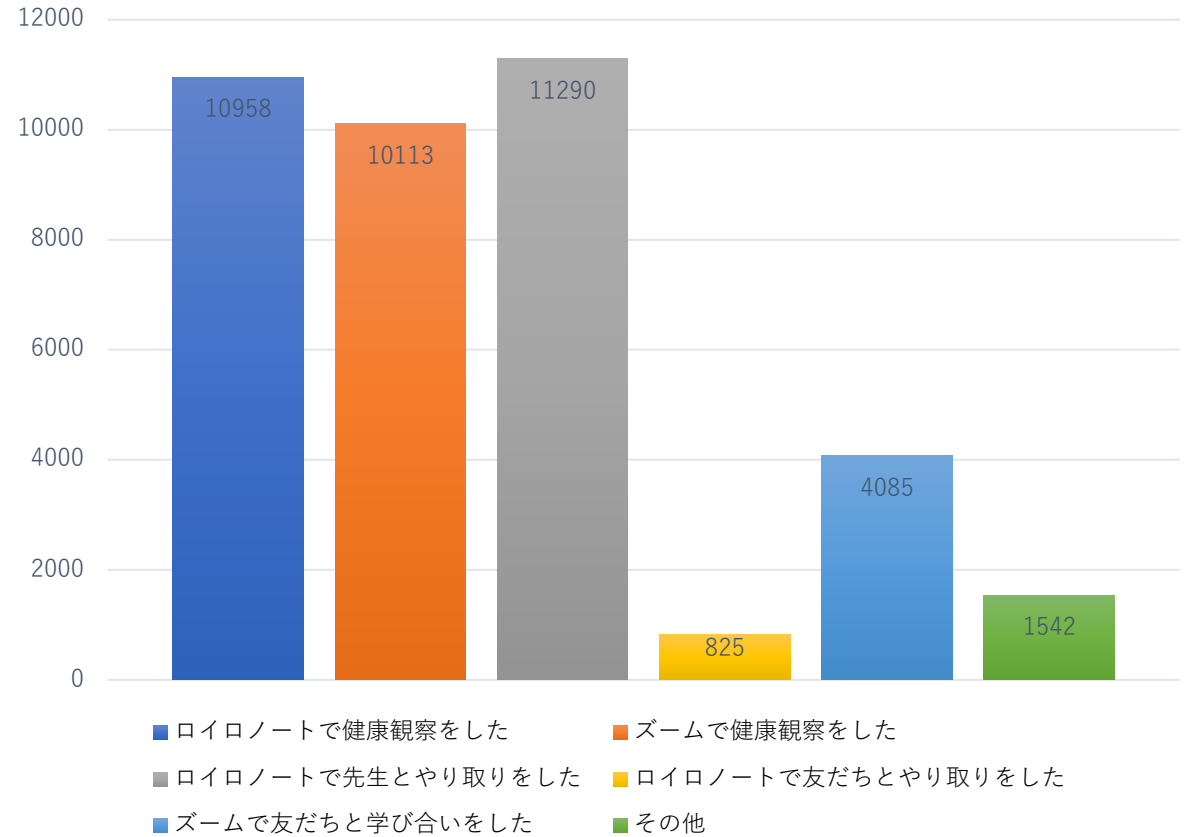


# オンライン授業で何をやりましたか 【子供】

## 小学校



## 中学校



## その他、オンライン授業で何をやりましたか 【子供】

### 小学校

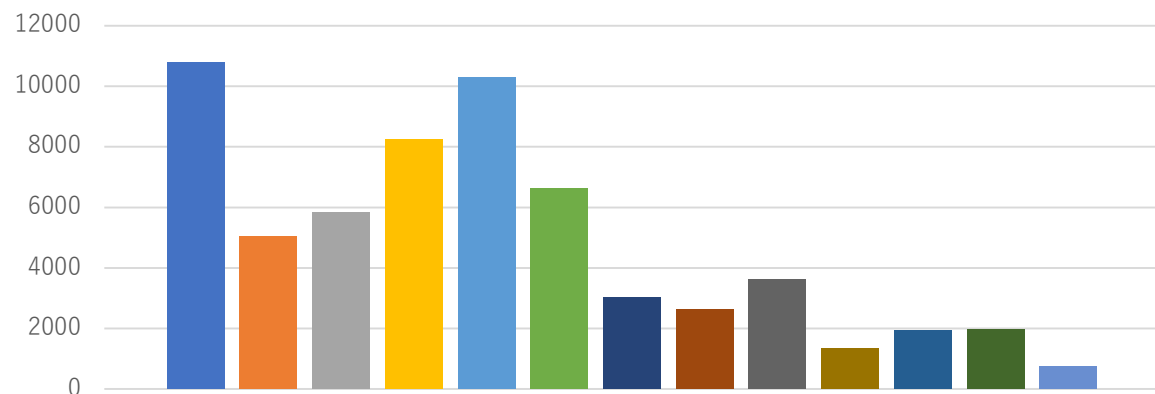
- ・ Zoomで授業を受けた。
- ・ 学校のYouTubeを見て学習した。
- ・ ロイロノートで授業の動画を見た。
- ・ ロイロノートで課題を提出したり、質問したりした。
- ・ ロイロノート勉強したものを写真やビデオに写し、先生に提出した。（リコーダー演奏、天気の写真）
- ・ メタモジで学習に取り組んだ。
- ・ ドリルパークに取り組んだ。
- ・ Zoomでラジオ体操をした。
- ・ 友達とブレイクアウトセッションをした。
- ・ 学級目標、活動を決め、自己紹介カードを作った。
- ・ タイムラプスで調理実習に取り組んだ。
- ・ バーチャル背景で、熊本市の色々な場所を学習した。
- ・ 朝の会、帰りの会をした。

### 中学校

- ・ Zoomで授業を受けた。
- ・ ロイロノートで課題を提出したり、質問したりした。
- ・ ロイロノートで授業の動画を見た。
- ・ メタモジで問題を解いた。
- ・ ホームルームを行った。
- ・ 委員会、係決めを行った。
- ・ 一分間スピーチを行った。
- ・ ラジオ体操、リコーダーに取り組んだ。
- ・ 全校集会を行った。
- ・ 部活動のミーティングやストレッチをした。

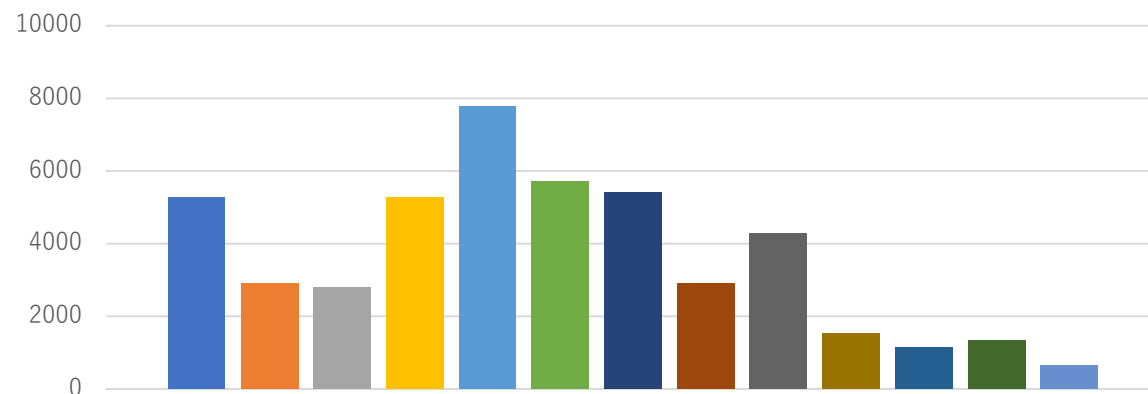
# オンライン授業でよかったこと、もっとこうしてほしいと思うこと（特にそう思うこと3つ） 【子供】

## 小学校



- オンラインで友だちと会うことができた。
- 先生に質問しやすかった。
- 友だちと学び合うことができた。
- 集中して取り組むことができた。
- 自分のペースで学習できた。
- 生活リズムがくずれなかった。
- 学習に取り組む内容が多くて大変だった。
- オンラインで長い時間授業を受けるのは疲れた。
- 質問がしにくかった。
- オンライン授業の回数が少なかった。
- 自分の家のパソコンやタブレット、スマートフォンを使ったので、上手に出来ないことがあった。
- タブレットを使うことが難しかった。
- その他

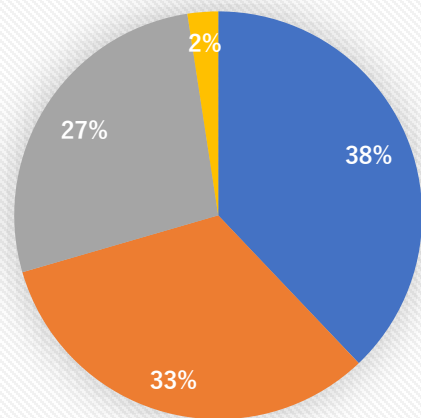
## 中学校



- オンラインで友だちと会うことができた。
- 先生に質問しやすかった。
- 友だちと学び合うことができた。
- 集中して取り組むことができた。
- 自分のペースで学習できた。
- 生活リズムがくずれなかった。
- 学習に取り組む内容が多くて大変だった。
- オンラインで長い時間授業を受けるのは疲れた。
- 質問がしにくかった。
- オンライン授業の回数が少なかった。
- 自分の家のパソコンやタブレット、スマートフォンを使ったので、上手に出来ないことがあった。
- タブレットを使うことが難しかった。
- その他

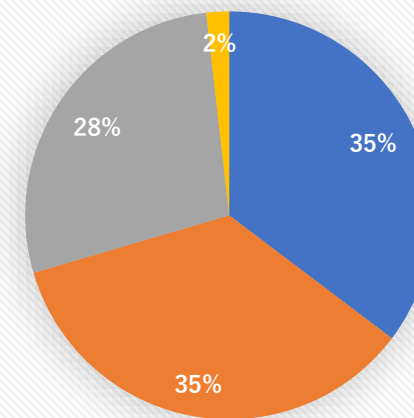
# 今後、どんな学習をしてみたいか 【子供】

## 小学校



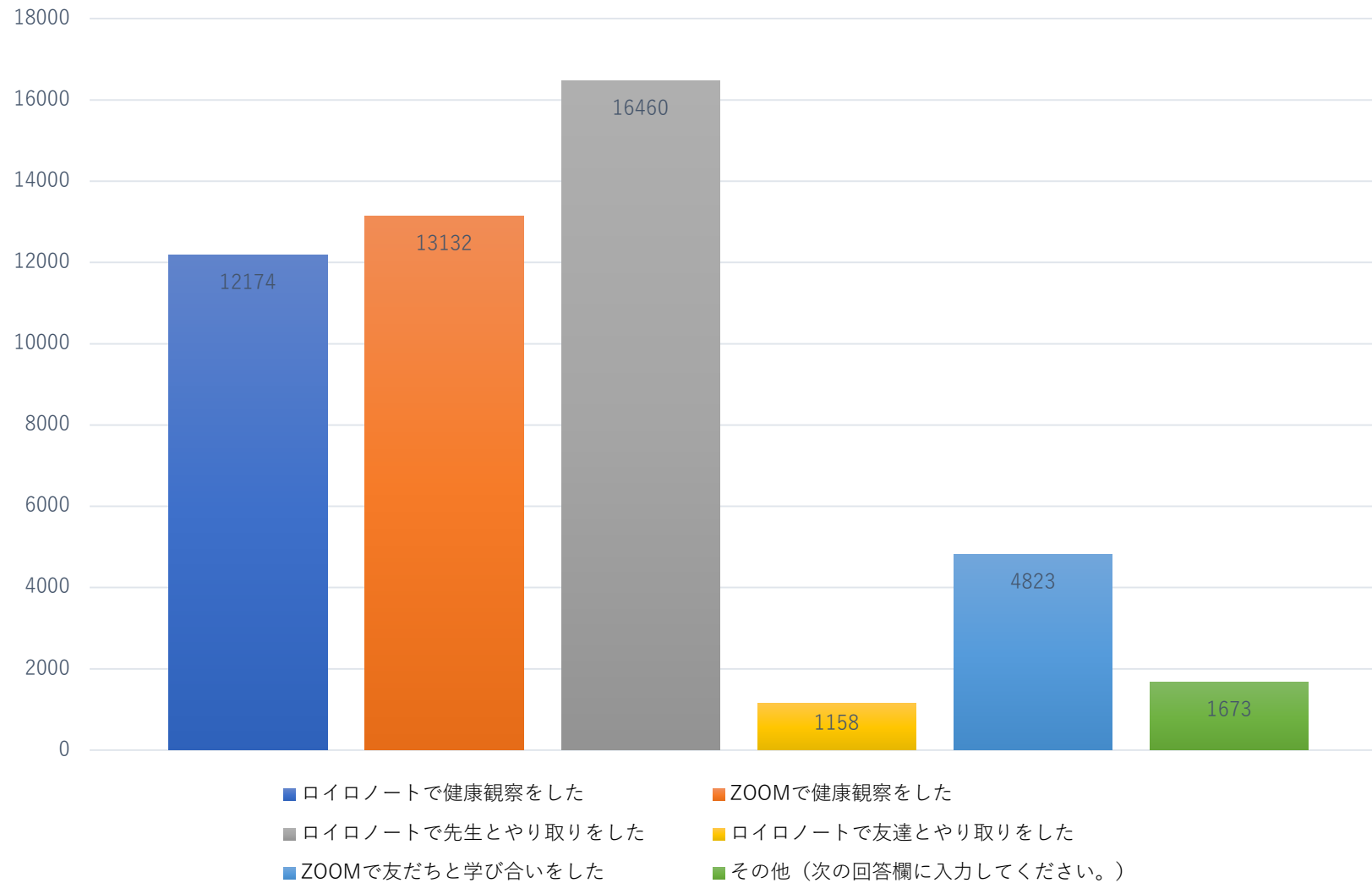
- タブレットを使って友だちと学び合っていく学習
- 自分のペースで問題を解いて進めていく学習
- 自分で学習する内容を決めたり、見つけたり、調べたりする学習
- その他（次の回答欄に入力してください。）

## 中学校

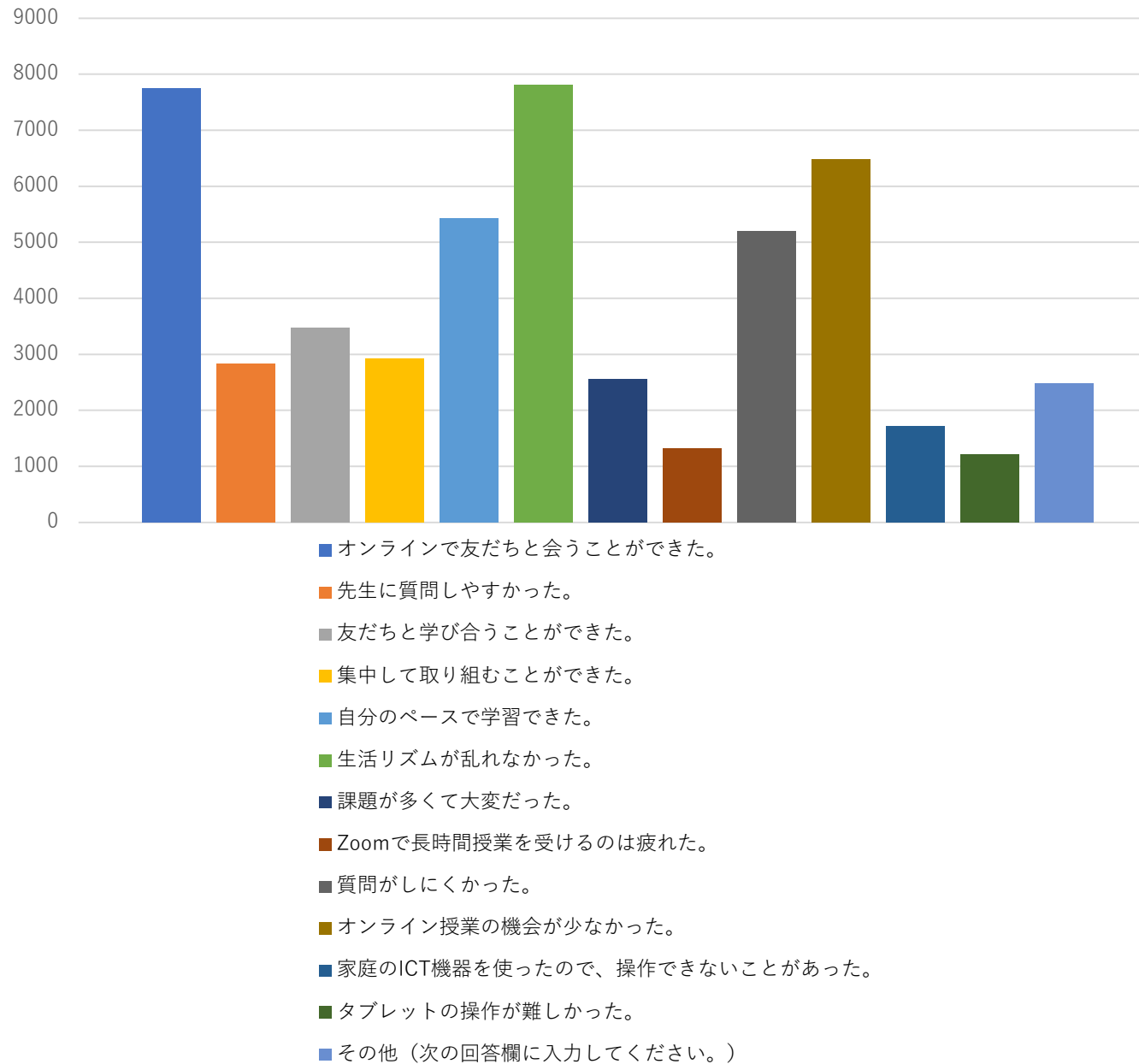


- タブレットを使って友だちと学び合っていく学習
- 自分のペースで問題を解いて進めていく学習
- 自分で学習する内容を決めたり、見つけたり、調べたりする学習
- その他（次の回答欄に入力してください。）

## オンライン授業で何がありましたか 【保護者】



# オンライン授業の成果と課題（特にそう思うこと3つ） 【保護者】



- ・ロイロノートで先生が自分たちの自由表現の場を設けてくれたので、歌や、絵や、工作など、楽しそうに投稿したり、閲覧したりして、勉強にだけではなく、楽しんでオンライン授業に取り組めていたと思う。
- ・zoomを使った授業により、子どもにとっては自宅で（場所を問わない）IT機器を使った（ゲームだけではない）学びの発見ができたと思う。
- ・オンラインでの授業は、家庭で自習ばかりしていた子ども達の、勉強のやる気につながっていました。メリハリもできました。
- ・オンライン授業で、先生やクラスメイトに合える機会があったことはとても良かったと思います。子供の表情も少し和らいだ印象があります。
- ・課題の提出や自主学習のための参考動画などもあり、学習のリズムができた。子どもだけでなく、親にとっても安心感があった。
- ・時間割や課題提出までの時間制限を設けることで、生活のリズムが乱れず集中して取り組めた。
- ・新中1だったので初対面の友達との授業は緊張している様子でしたが、時間が経つにつれ慣れていき、学校が再開すると、すんなり友達になれたようでした。
- ・担任の先生から毎日、一言や添削をもらえたのは、とてもありがたかったです。
- ・オンライン授業では、インプットとアウトプットが難しいのではないかと考えておりましたが、想像以上に子供達のポテンシャルが発揮される場面が多く感じられました。

- ・1日のオンライン授業の時間が短いように感じた。課題は出してあったが、オンラインで繋がっている授業をもっと通常の時間割りのようにできないのかと思った。
- ・アクセスが集中すると課題の提出やロイロノートでデータの送受信が全くできず、待っている時間をもったいなかった。内容も大切ですが、それ以前にスムーズに進められるような環境を整えていただければと思います。
- ・スマホでオンラインをしていましたが、やはり画面が小さすぎて操作にストレスがかかりました。全員タブレットをぜひお願いいたします。タブレットなど、子ども全員には同じ条件に整えてから実施してほしい。
- ・授業の録画などもあれば、振り返りも出来るのではと感じた。また授業1コマごとに理解度アンケートなどあれば、より質問もしやすくなるのかなと感じました。
- ・視力、姿勢などの身体面への影響も十分に考慮して授業を行ってほしいと思います。
- ・ZOOMでの授業では、先生から生徒への一方通行になっていた。リアルタイムの意味が薄れていたように思えます。ロイロノートを用いて授業をし、生徒への反応を求める機会を増やして頂きたいです。
- ・可能であれば、双方向で授業ができれば、質問したり、友達と話せたりできたのではないかな。
- ・zoomの授業を見ていて思ったのですが、先生が大事な話をする時や、誰かが発言する時は他の全員をミュートにしないと生活音や話し声を拾って発言者の声が聞こえづらくなる。
- ・習っていない事を家庭で課題に取り組まなくてはいけないので、親の負担が大きすぎて疲れ果てました。
- ・学校によってオンライン授業を受ける内容に差が出ないようにしてほしいです。



- ・今回の事を踏まえて、有事の際のオンライン授業をスムーズに移行できるように熊本市や教育委員会、現場の先生方のより一層の連携が必要だと思いました。
- ・今後の子供たちの将来を考えると、ICTを活用した学校運営は必須になってくると思います。小学生だからまだ早いといって決めつけるのではなく、低学年から積極的に活用できるよう、教育含めて取り組んでいただきたい。
- ・オンライン授業であっても、生徒同士がグループで話し合えたりなど、アクティブラーニング型の授業で、それぞれが別の場所においても繋がりを感じられたり他者からの学びを感じられるように工夫してもらいたい。
- ・熊本市内の学校ごとに、活用の差があるのが気になります。子どもたちは使い方はすぐに身に付くので、情報モラルを含めたITリテラシーのご指導をお願いしたいです。
- ・今回、オンラインの授業では各学校により授業内容や質に開きがあったように思う。オンライン授業を実際の授業時間に換算するのであれば、回数や内容などある程度学校間で統一して欲しい。
- ・3ヶ月近い休校で、不足する授業日数が1週間ほどだというお知らせがありました。プリントなどの問題を解かせるだけの家庭学習を授業時数と置き換えることに納得出来ません。
- ・ロイロノートは、保護者のスマホでも共有出来るため、課題提出をちゃんとやっているか確認できるので良かったです。緊急時以外でも、普段の授業からもっと積極的に使えるといいと思います。
- ・長い休校中、オンライン上で先生やお友達と繋がれる事は、親子共に心の安定になりました。生活リズムも整えられるし、助かりました。勉強面も良かったです。精神的に良かったです。